FUJITSU TEN
AVN-ZX02i用　日産セレナ専用キット

NKTN-SE

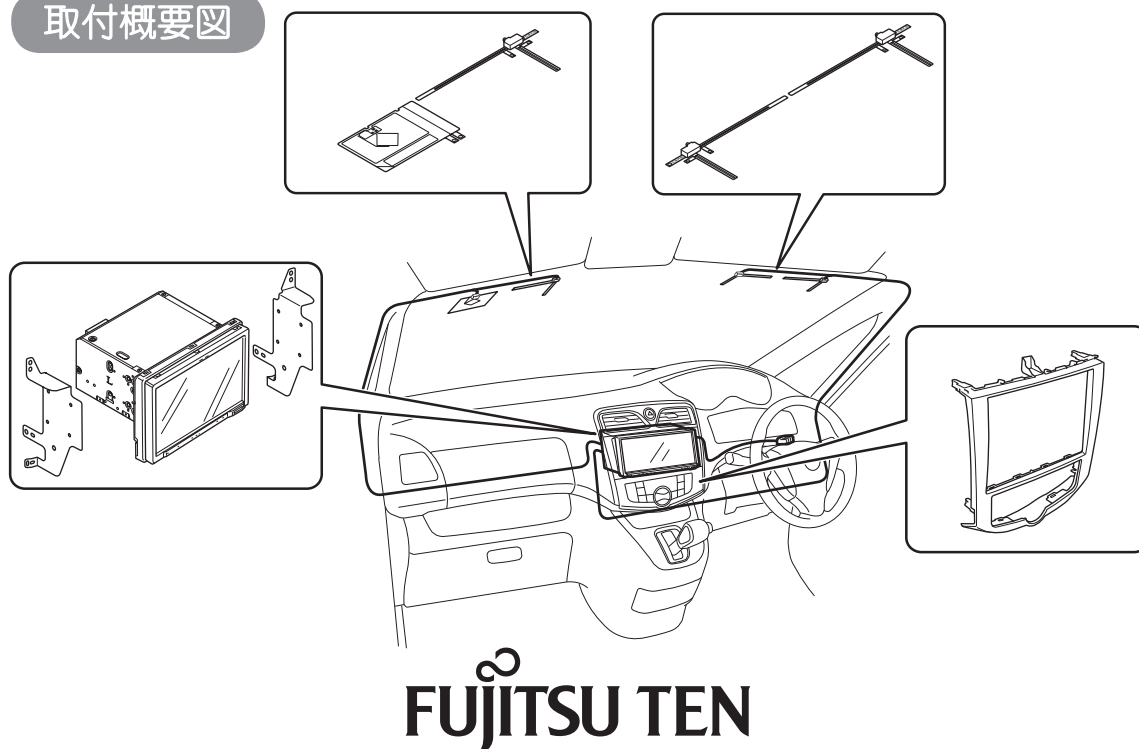
取付説明書

車種名	年式	型式
セレナ	H22年11月〜現在	C26　FNC26 FC26　HC26 NC26　HFC26

お客様へのお願い

●この説明書はセレナ専用です。また、本機の取り付けには車両部品の加工が必要です。（☞ P.16,17）
取り付けおよび接続を行う前に、必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しく作業を行ってください。
●指定以外の取付方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。
●本機の取り付けには、専門技術と経験が必要です。お買い上げの販売店での取り付けをお薦めします。
●安全運転のため、ご使用の前に「**取扱説明書**」（**ナビゲーション本体に同梱**）、「**取付説明書**」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●「**取扱説明書**」（**ナビゲーション本体に同梱**）、「**取付説明書**」をお読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ー販売店様へー
●本機の取り付けには車両部品の加工が必要です。車両部品の加工については、必ずお客様にご確認のうえで作業を行ってください。（☞ P.16,17）
●取り付け、接続作業が完了しましたら、この取付説明書をお客様へお渡しください。

取付概要図

FUJITSU TEN

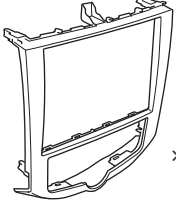
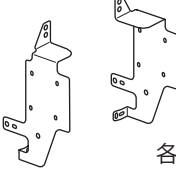
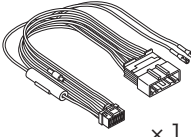
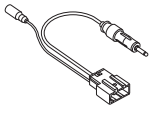
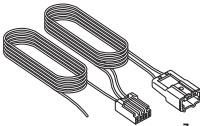
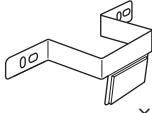
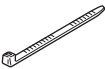
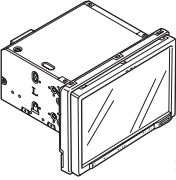
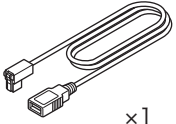
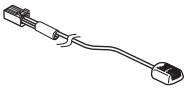
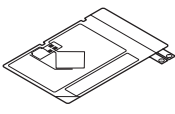
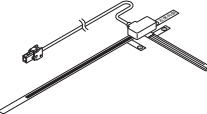
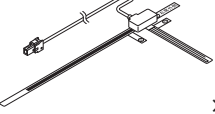
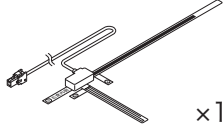
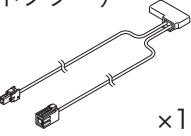
●目次

●作業の前に

●取り付ける前に構成部品をご確認ください。
●取り付けには、一般工具のほか、はさみやカッターナイフ、布きれが必要です。
●ねじやボルト、ナットの取り付けには、寸法の合う工具をお使いください。
●別売の外部機器を接続する場合には、必ず指定品をお使いのうえ、各機器の取付説明書をよくお読みの上、正しく作業を行ってください。

●作業の進め方

1）構成部品の確認 (☞ 構成部品)
2）バッテリーの⊖端子を外す
3）接続を確認する (☞ 接続のしかた、システム接続例)
4）フィルムアンテナを取り付ける (☞ フィルムアンテナ貼り付け上のご注意)
5）アンテナコードを配線する (☞ アンテナの取り付け及びアンテナコードの配線について)
6）メインユニットを取り付ける (☞ メインユニットを取り付ける前に)
7）バッテリーの⊖端子を元に戻す
8）miniB-CAS カードを挿入する (☞ 取り付け後の設定／作動確認)
9）設定および作動確認をする (☞ 取り付け後の設定／作動確認)

必要工具

プラスドライバー、マイナスドライバー、ボックスレンチ、リムーバー、クリップ外し、ニッパ、ニードルノーズプライヤー、ヤスリ

●構成部品　作業前に構成部品が揃っているか確認してください。

●キット関係

❶専用パネル

×1

❷取付ブラケット（左・右）

各×1

❸車両ダイレクト接続コード

×1

❹アンテナ変換コード

×1

❺車両信号接続コード

×1

❻-a ハーネス固定テープ

×1

❻-b ウレタンフォームテープ（切口保護用）

×1

❼ステー（マジックテープ付き）

×1

❽セムス六角ボルト（M5×8）

×8

❾バンドクランプ（L150）

×10

❿皿ビス（M3×8）

×2

⓫圧着コネクター（エレクトロタップ）

×1

●ナビゲーション本体関係（別売）

⓬メインユニット

×1

⓭USB 接続コード

×1

⓮マイク

×1

⓯クランパー

×3

⓰ miniB-CAS カード

×1

⓱地図 SD カード

×1

⓲マップオンデマンドセットアップディスク

×1

⓳フィルムアンテナ（左席外側）

×1

⓴フィルムアンテナ（左席内側：黒色コネクター）

×1

㉑フィルムアンテナ（右席外側：黒色コネクター）

×1

㉒フィルムアンテナ（右席内側：黒色コネクター）

×1

㉓ GPS・TVアンテナコード（左席外側：緑色／黒色コネクター）

×1

㉔クリーナ

×1

●その他の構成部品（取扱説明書、取付説明書、保証書などの資料類）

※⓴と㉑、㉒ フィルムアンテナは形状がよく似ているため、間違わないように必ずハクリ用タブに記載された貼付位置表示を確認してください。
※⓴、㉑、㉒ フィルムアンテナを取り出す際、決してコードをひっぱらないでください。
フィルムアンテナに傷をつけないよう慎重にゆっくりと厚紙を開いてフィルムアンテナを取り出してください。（厚紙を開いた後に厚紙の点線部分を折り曲げると容易に取り出せます。）

●安全に正しくお使いいただくために

お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

❗：しなければならないことを表しています。

🚫：してはいけないことを表しています。

⚠：注意をしなければならないことを表しています。

●本機取り付けのために必ず守っていただきたいこと、知っておくと便利なことを下記の表示で記載しています。

アドバイス	この表示は、本機の故障や破損を防ぐために守っていただきたいこと、知っておくと便利なこと、知っておいていただきたい内容を示しています。

⚠警告

❗**本機はDC12V アース車専用です。**
大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車での使用はしない。
火災の原因となります。

❗**取り付け作業前には、必ずバッテリーのマイナス端子をはずす。**
プラスとマイナス経路のショートによる感電や怪我の原因となります。

🚫**本機を次のような場所には取り付けない。**
本機を、前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所などには絶対に取り付けしない。交通事故や怪我の原因となります。

⚠**車体に穴をあけて取り付ける場合は、注意して作業を行う。**
車体に穴をあけて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないよう注意して行う。火災の原因となります。

❗**ドリル等で穴あけ作業をする場合は、ゴーグル等の目を保護するものを使用する。**
破片などが目に入ったりして怪我や失明の原因となります。

🚫**車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しない。**
保安部品を使用しますと、制動不能や発火、事故の原因となります。

🚫**本機を分解したり、改造しない。**
事故、火災、感電の原因となります。

❗**ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用する。**
規定容量を越えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。

🚫**画面が出ない、音が出ないなどの故障状態で使用しない。**
そのまま使用すると、事故、火災、感電の原因となります。

❗**万一、異物が入った、水がかかった、煙りが出る、変な匂いがするなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談する。**
そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。

🚫**エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に本機の取り付けと配線をしない。**
車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行う。エアバッグ動作を妨げる場所に取付・配線すると誤作動を起こしたり、交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しないため、怪我の原因となります。

🚫**電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止める。**
電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。

❗**接続したコードや使用しないコードの先端など、被覆がない部分は絶縁性テープ等で絶縁する。**
ショートにより火災、感電の原因となります。

❗**コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておく。**
ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくと事故の原因となり危険です。

⚠警告

❗取付説明書で指定された通りに接続する。
正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。

⚠注意

❗**本機の取付・配線には、専門技術と経験が必要です。**
安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。誤った配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。

❗**必ず付属の部品を指定通り使用する。**
指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れることがあり危険です。

🚫**雨が吹き込むところなどの水のかかるところや湿気、埃、油煙の多いところへの取り付けは避ける。**
本機に水や湿気、埃、油煙が混入しますと、発煙や発火、故障の原因となることがあります。

🚫**しっかりと固定できないところや振動の多いところへの取り付けは避ける。**
本機が外れて運転の妨げとなり交通事故や怪我の原因となることがあります。

🚫**直射日光やヒーターの熱風が直接当たるところなどへ取り付けない。**
金属部分が高温になり、火傷をする可能性があります。
また、本機の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

🚫**本機の通風孔や放熱板、ファンをふさがない。**
通風孔や放熱板、ファンをふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

⚠**車体のねじ部分、シートレール等の可動部にコード類をはさみ込まないように配線する。**
断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。

❗**コードが金属部に触れないように配線する。**
金属部に接触しコードが破損して火災、感電の原因となることがあります。

❗**コードの配線は、高温部を避けて行う。**
コード類が車体の高温部に接触すると被覆が溶けてショートし、火災、感電の原因となることがあります。

🚫**コード類を決して切断しない。**
コード類には、ヒューズなどが付いている場合があるので、保護回路が働かなくなり、火災の原因となることがあります。

🚫**電源用リード線をバッテリーに直接接続しない。**
機器を動作させるための電流容量が不足して、バッテリーから直接、電源を取る必要がある場合はバッテリー専用の配線キットを使用してください。

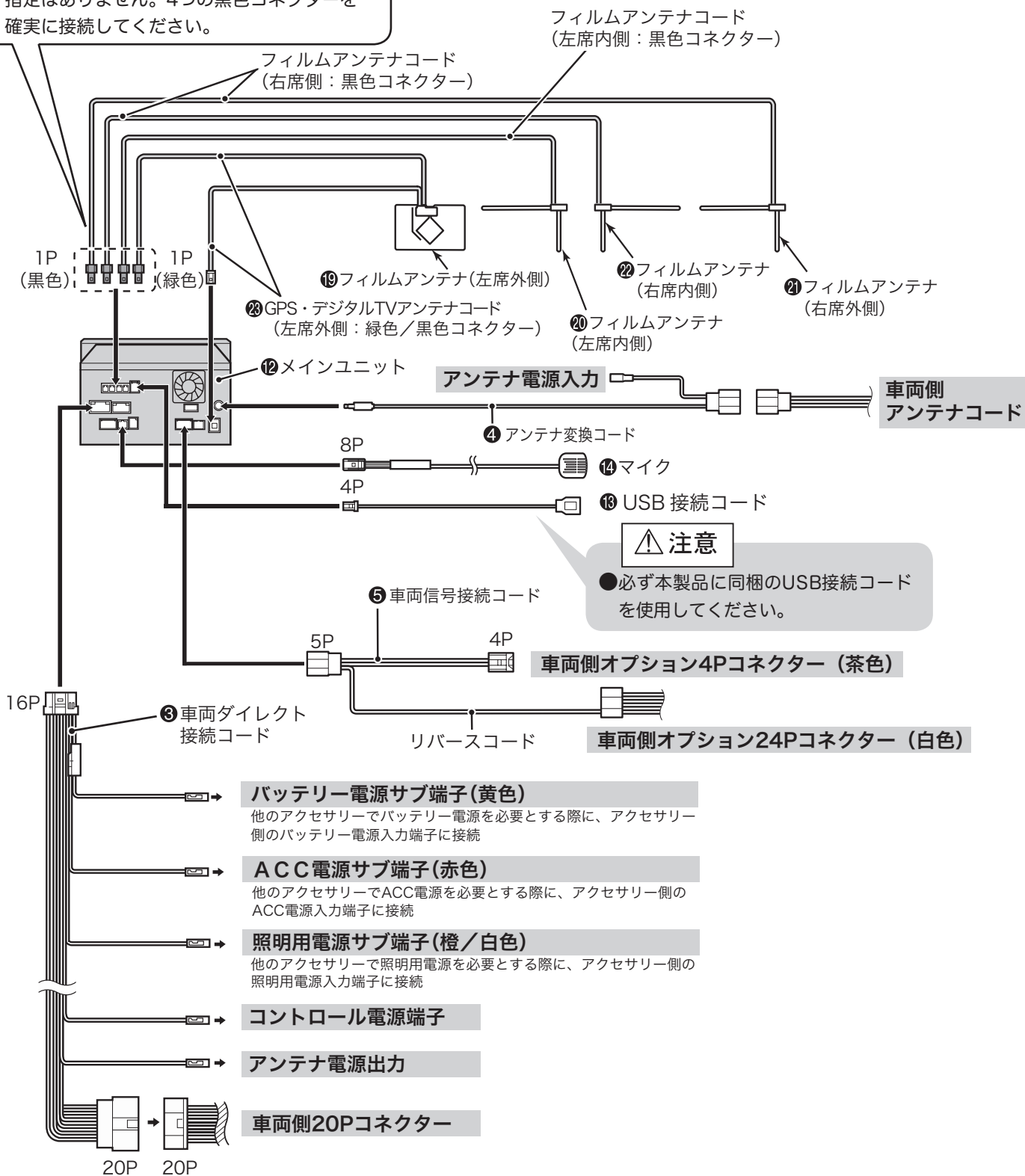
⚠**コード等の車内への引き込みは、十分注意する。**
雨、水の車内への浸入を防ぐためコード等の車内への引き込みには十分気をつけて作業を行ってください。車内に浸水すると、火災や感電の原因となることがあります。

🚫**本機を車載用として以外は使用しない。**
感電や怪我の原因となることがあります。

⚠**本機の取り付けには、車両部品の加工が必要です。**
本機を取り付ける前の状態に復元するには、部品の交換が必要です。ただし、加工した車両部品については、車両メーカーの保証対象外となるおそれがあります。また、本書に従って車両部品の加工を行った結果による車両価値の変動や評価、車両メーカーの保証が受けられなかったことによる修理・交換費用等については弊社では補償いたしかねます。

●接続のしかた

⚠注意

●フィルムアンテナおよびアンテナコードは、本製品に同梱のものを使用してください。同梱品以外のものを使用すると、受信性能が低下する場合があります。
●接続しない端子は、ビニールテープ等で絶縁処理をしてください。絶縁処理をしないとショートにより火災・感電の原因になります。

●システム接続例

接続する機器の取付説明書を確認して、取付けおよび配線を行ってからメインユニットに接続してください。

●接続可能な外部機器、およびコードについては、イクリプスホームページの「お客様サポート」（http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/）をご確認ください。

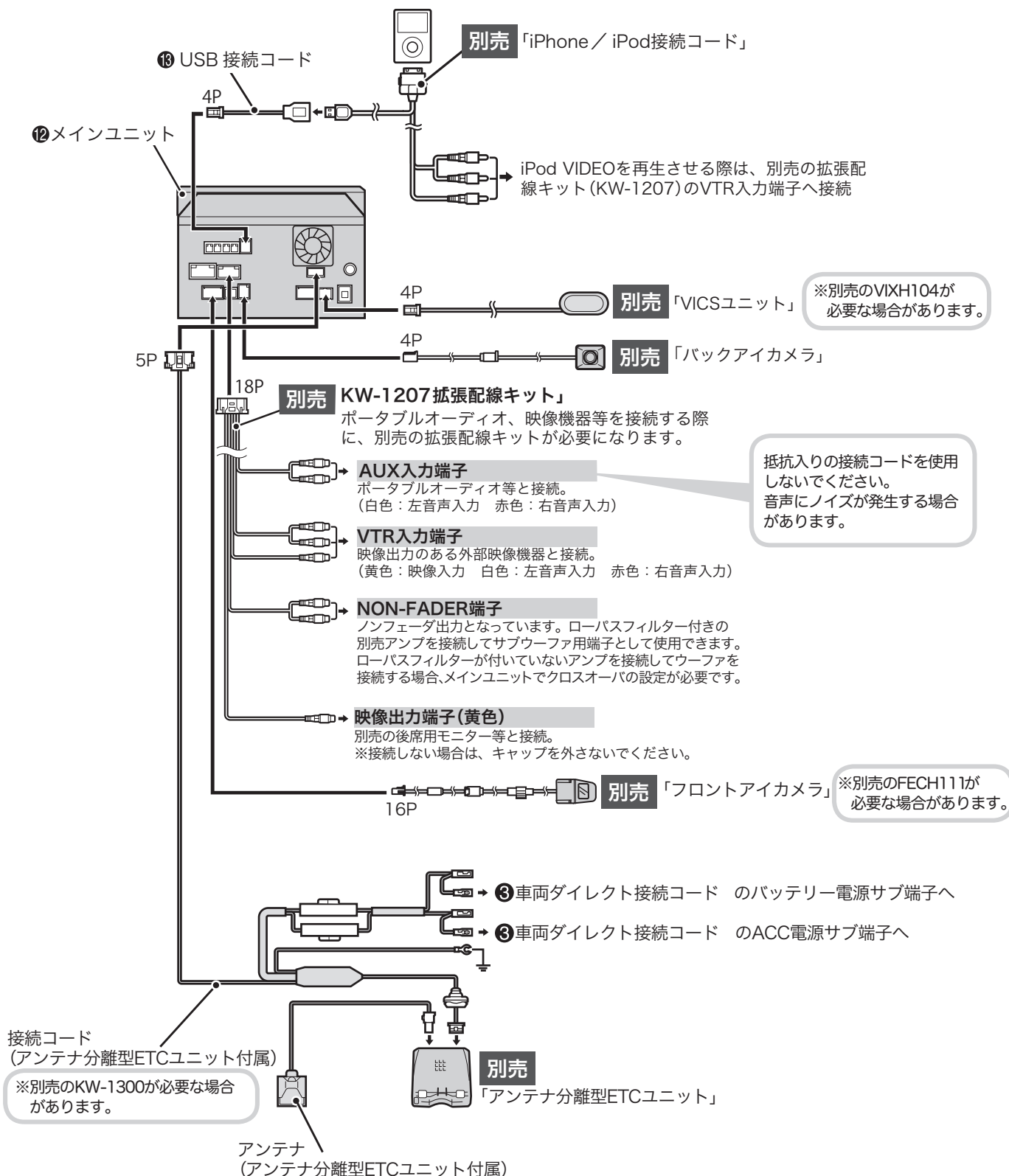
● "Made for iPod" and "Made for iPhone" mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may effect wireless performance.

● iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, and iPod touch are trade marks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

Made for iPod iPhone

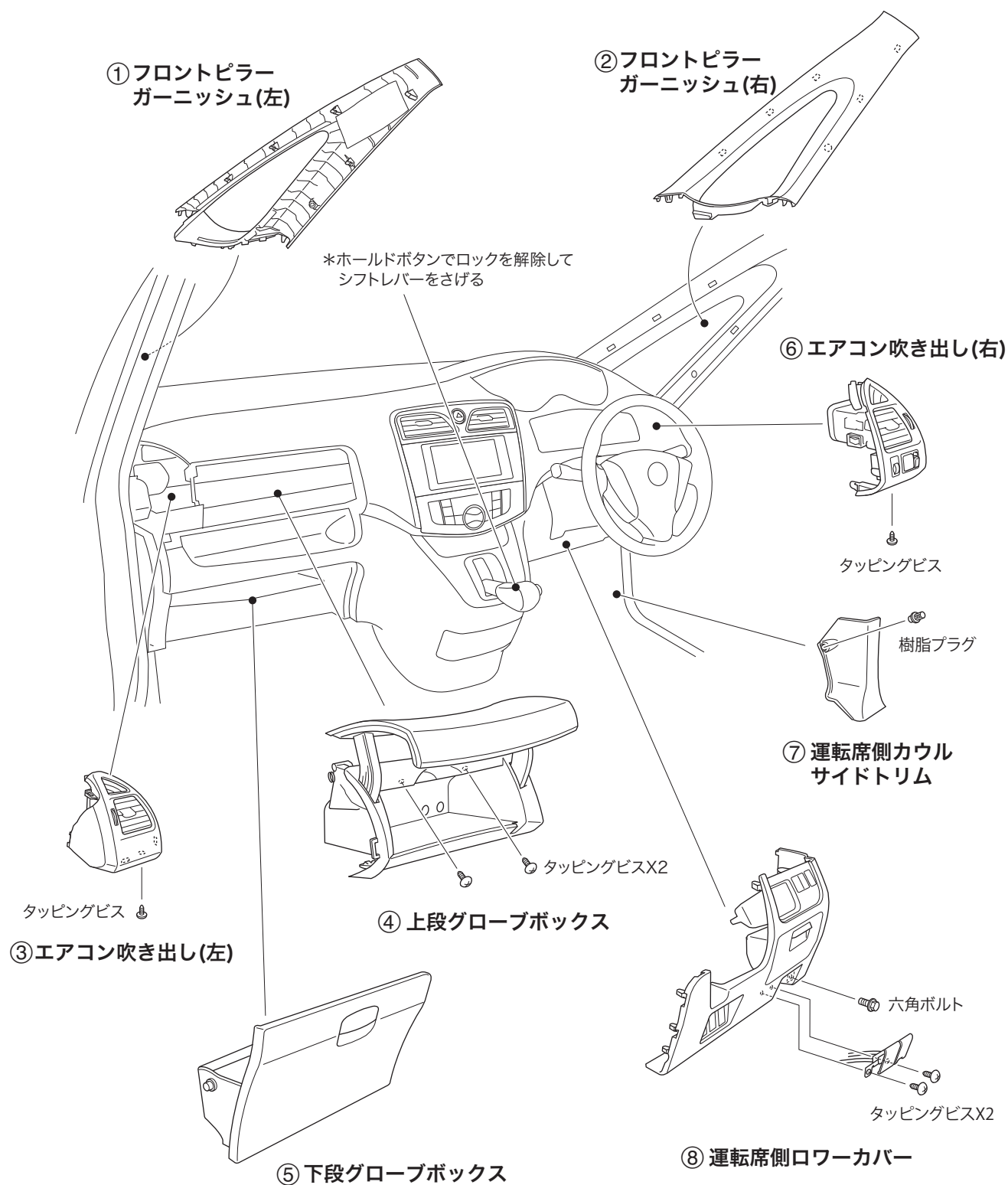
⚠注意

●別売の拡張配線キットの映像出力端子を使用して著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。
また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを介してモニター出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。

●著作権保護された番組を視聴する場合は本製品とモニターを直接接続してください。

●車両部品の取り外し

■車両部品の取り外し１

・下図に示す内装部品を取り外します。番号順に取り外してください。

⚠注意

●キズ防止のため、要所をマスキングテープ等で保護してください。
●ネジおよびクリップ等の紛失に注意してください。

■車両部品の取り外し2

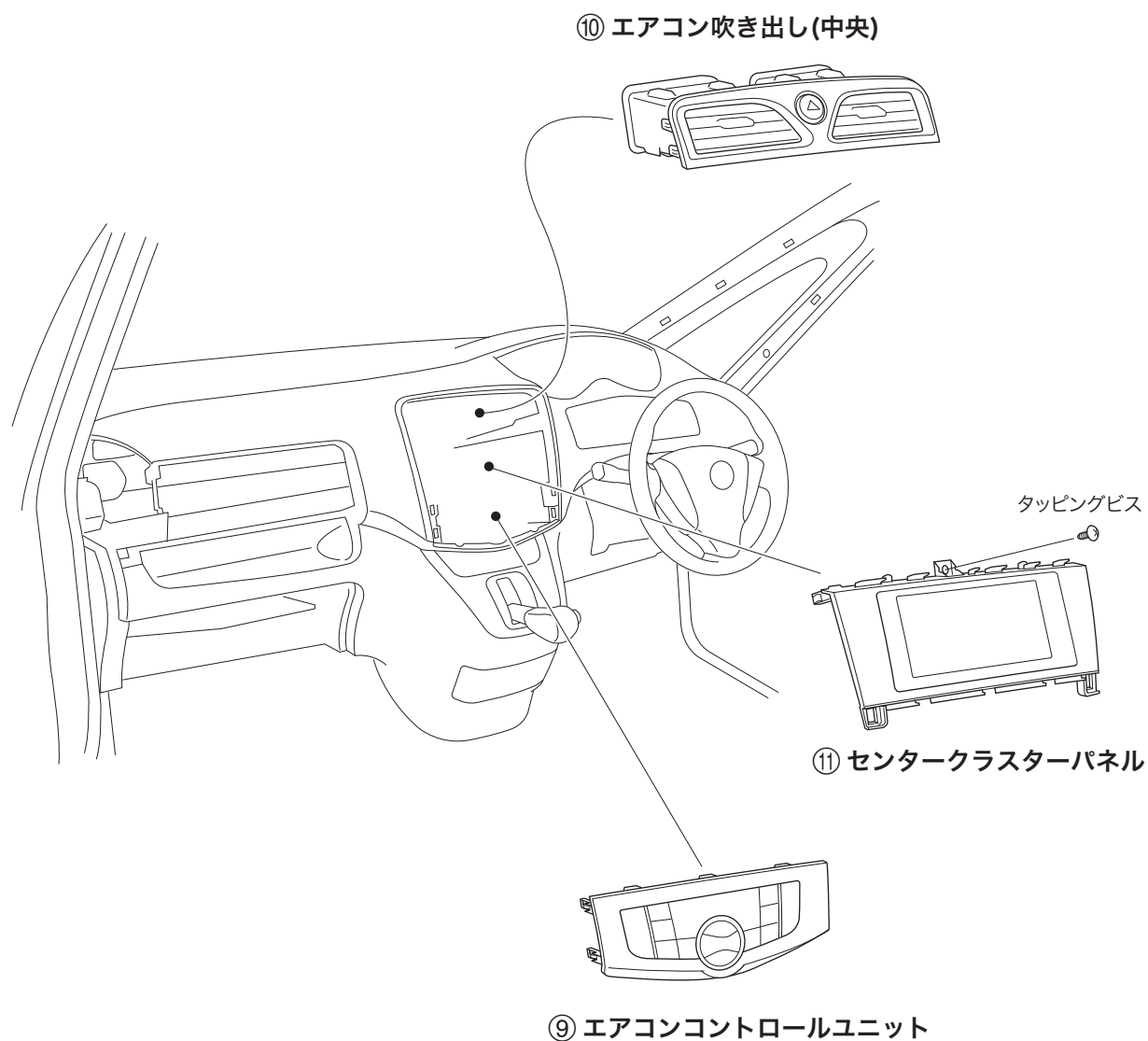
・下図に示す内装部品を取り外します。番号順に取り外してください。

⑩ **エアコン吹き出し(中央)**

タッピングビス

⑪ **センタークラスターパネル**

⑨ **エアコンコントロールユニット**

⚠ 注意

●キズ防止のため、要所をマスキングテープ等で保護してください。
●ネジおよびクリップ等の紛失に注意してください。

●フィルムアンテナの貼り付け上の注意

⚠注意

●フィルムアンテナは、一度貼り付けると貼り直しできません。
貼付位置を十分に確認して作業を行ってください。

●取付説明書の指示通りに作業されない場合、保安基準適合品として認められないことがあります。必ず指示通りに取り付けてください。

●フィルムアンテナは、繊細な構造になっております。折り曲げたり、傷をつけないよう慎重にお取り扱いください。

●フィルムアンテナをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリンなどの揮発性液体を使用して拭かないでください。

アドバイス

●フィルムアンテナは、付属のクリーナーで貼付位置の汚れ、水分、油分などをよく拭きとってから貼り付けてください。

●気温が低い(20℃以下)時は、フィルムアンテナの粘着力の低下を防ぐため車内ヒーターやデフロスタースイッチをONにしてフロントガラスを温めてから貼り付けてください。

●フィルムアンテナは、必ずフロントガラス上部の指定された位置・寸法内に貼り付けてください。指定の場所以外に貼り付けた場合、性能確保できません。左ハンドル車の場合も、フィルムアンテナの貼付位置は変わりません。

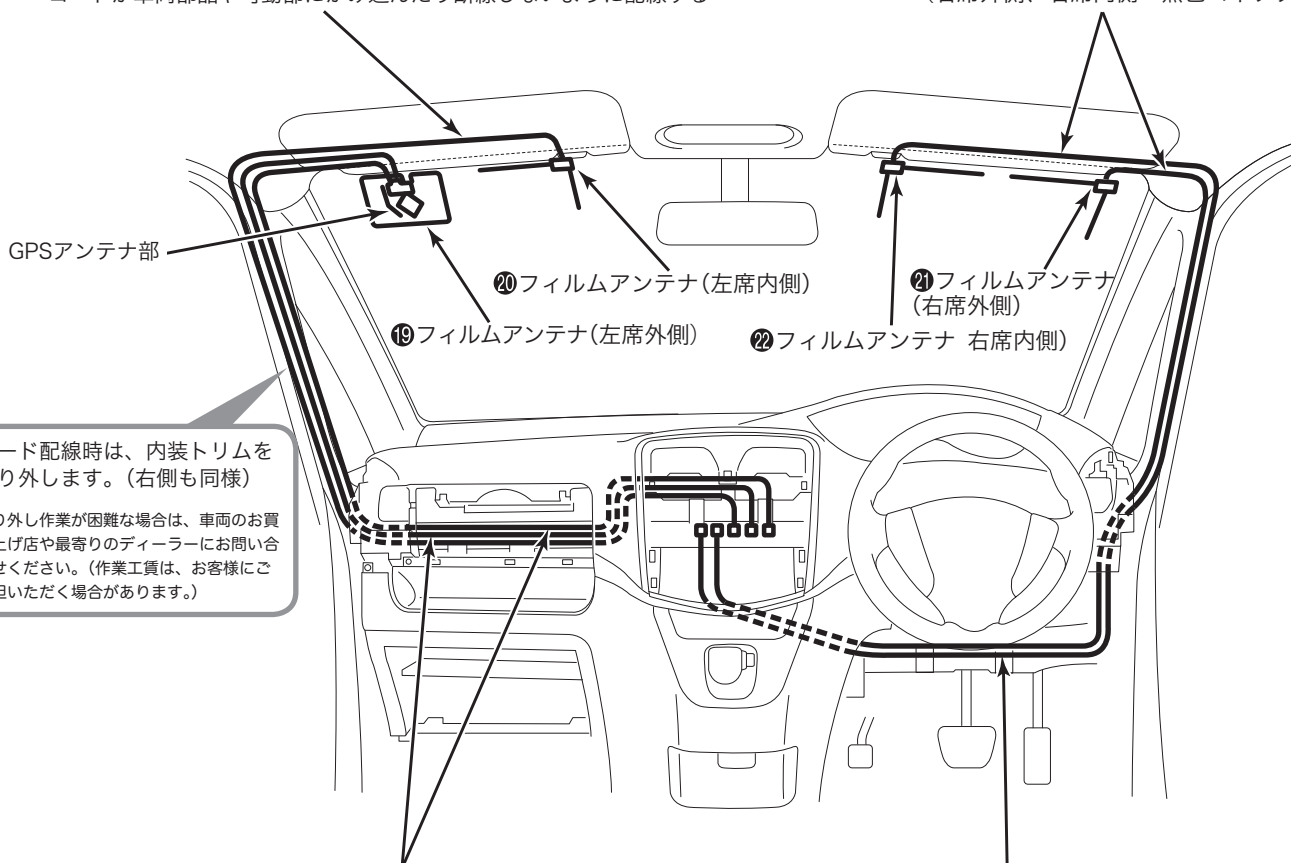
●フィルムアンテナを車両のピラー等の金属に近づけて貼り付けると受信感度が低下する場合があります。

●車両のフロントガラスにAM/FMラジオアンテナが内蔵されている場合は、干渉を避けるためアンテナが重ならないように貼り付けてください。

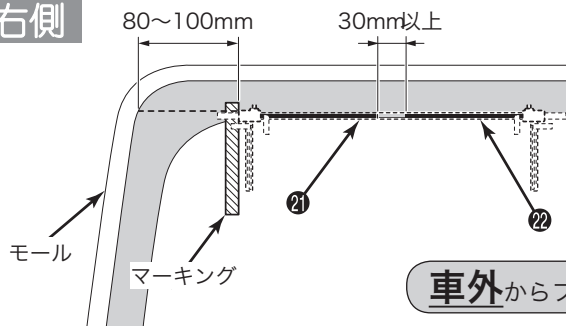
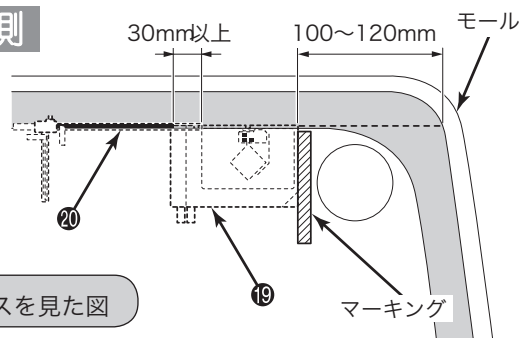
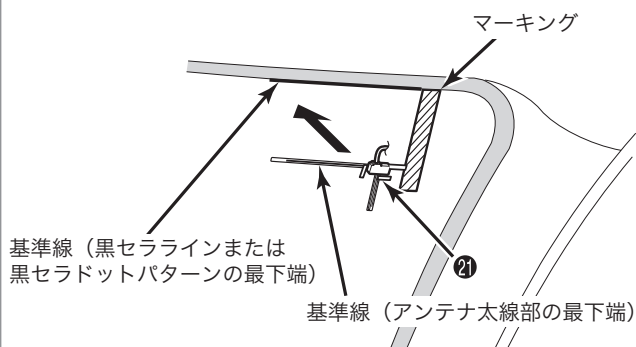
●ワイパー動作やエアコン用モーターなどから出るノイズにより映像や音声が乱れることがありますが、故障ではありません。

●電波塔のすぐ近くや、山陰や電波塔から遠いところなどの電波状況の悪い場所では、映像や音声が乱れる場合があります。

●フロントガラスの材質・表面処理等により、電波の受信が出来ない場合や、受信感度が低下する場合があります。
(例：熱線反射タイプまたは熱線吸収タイプのフロントガラスの場合や、ミラータイプのカーフィルムを貼っている場合。「金属を蒸着メッキした熱反射ガラス」は、熱線だけでなく電波も反射するため、フィルムアンテナの取り付けはできません。)

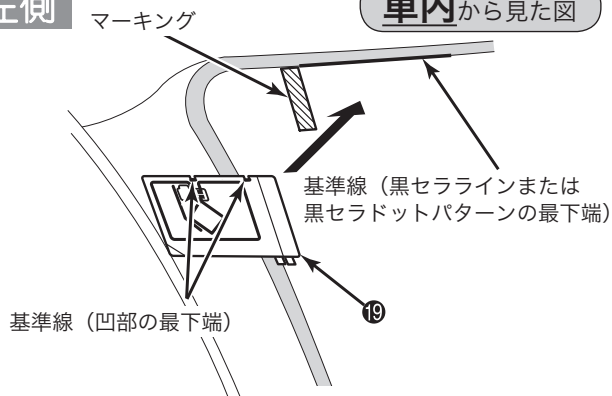
フィルムアンテナ取付概要図

●アンテナの取り付け及びアンテナコードの配線について

1 フィルムアンテナの貼付位置を決める

フィルムアンテナの貼付寸法　●貼付位置に障害物等がないことを確認してください。

① 上図の寸法に従い、アンテナの貼付位置２箇所をテープ等でマーキングする。

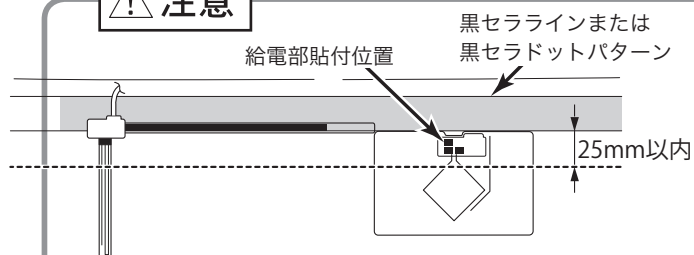
② ㉑フィルムアンテナ(右席外側)の貼付位置を確認する。

●車室内からフロントガラスにフィルムアンテナを当て、フィルムアンテナ太線部の下端を黒セラライン※1または黒セラドットパターン※2の下端に合わせてください。

※１ 黒セラライン　　　　：黒色セラミックラインの略。
フロントガラス端の黒い色部分。
※２ 黒セラドットパターン：黒色セラミックドットパターンの略。
フロントガラス端の黒色のドット(点々)部分。

③ ⑲フィルムアンテナ(左席外側)の貼付位置を確認する。

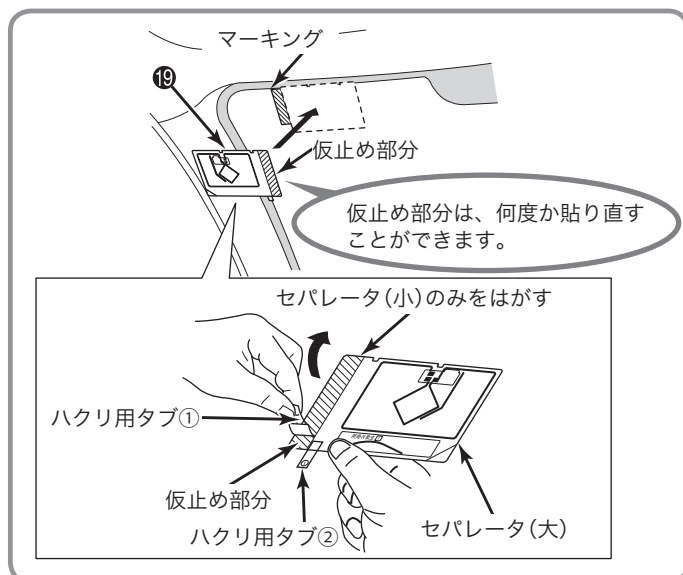
●車室内からフロントガラスにフィルムアンテナを当て、フィルムアンテナ上端の凹部を黒セラライン※1または黒セラドットパターン※2の下端に合わせてください。

※１ 黒セラライン　　　　：黒色セラミックラインの略。
フロントガラス端の黒い色部分。
※２ 黒セラドットパターン：黒色セラミックドットパターンの略。
フロントガラス端の黒色のドット(点々)部分。

⚠注意

国土交通省の定める保安基準に適合させるため、フィルムアンテナを貼付位置に合わせ、給電部貼付位置下端が黒セララインまたは黒セラドットパターンより25mm以内になっている事を確認してください。

アドバイス

- ●黒セラの形により上図の貼付位置に合わせられない場合は、フロントガラス上端とアンテナが平行になるよう取り付けてください。
- ●必ず上記の手順に従い、貼付位置に問題がないことを確認してから次の手順に進んでください。
- ●フィルムアンテナのセパレータおよびフィルムシートは、まだはがさないでください。
- ●内側のフィルムアンテナは、マーキングの必要はありませんが、貼付位置は事前に確認してください。
- ●フィルムアンテナは、黒セラ及び黒セラドットにかかって取り付けても問題ありません。
- ●フィルムアンテナは、車検証や検査証と重ならないように取付位置を決めてください。
- ●テープは、フロントガラスに跡形が残らないもの(ビニールテープ等)を使用してください。

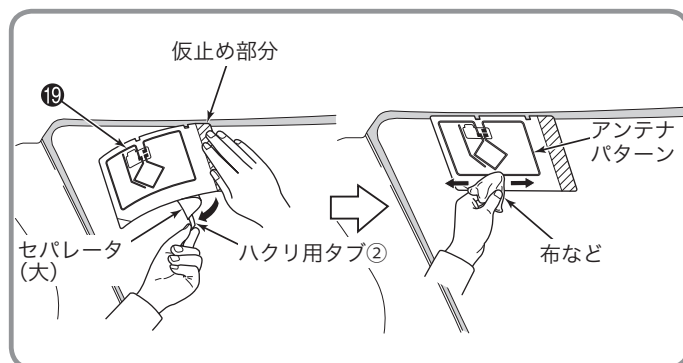
2 ⓳フィルムアンテナ（左席外側）を仮止めする

① フィルムアンテナ貼付位置の汚れ、水分、油分などを付属のクリーナーでよく拭きとる。

② フィルムアンテナからセパレータ（小）をはがす。

③ マーキングに合わせ、フロントガラス（室内側）に仮止めする。
- ●仮止め部分を布などでこすって固定してください。

⚠注意

セパレータ（大）：ハクリ用タブ②側は、はがさないでください。フィルムアンテナの仮止めをする前にセパレータ（大）をはがすとフィルムアンテナを正しく貼ることができません。

3 ⓳フィルムアンテナ（左席外側）をフロントガラスに貼付ける

●シワや傷がつかないようにフィルムシートの上からアンテナパターン部を数回程度こすってください。

セパレータ側にアンテナパターンが残った場合

●セパレータを元に戻してアンテナパターン部をこすって、再度セパレータをはがしてください。
●初めはフィルムシート側にアンテナパターンがあっても、途中からセパレータ側に残る可能性があります。その場合もセパレータを元に戻してアンテナパターン部をこすって、再度セパレータをはがしてください。

① フィルムアンテナからセパレータ（大）をはがす。
- ●仮止め部分を手で押さえながらセパレータ（大）をはがしてください。
- ●アンテナパターンがフィルムシートから浮かないようにセパレータ（大）をゆっくりはがしてください。
- ●セパレータ（大）を少しずつはがしながらフィルムアンテナをフロントガラスに貼り付けてください。

② フィルムアンテナをフロントガラスに貼り付ける。

③ フィルムアンテナのアンテナパターン部を布などでこすってガラス面に定着させる。

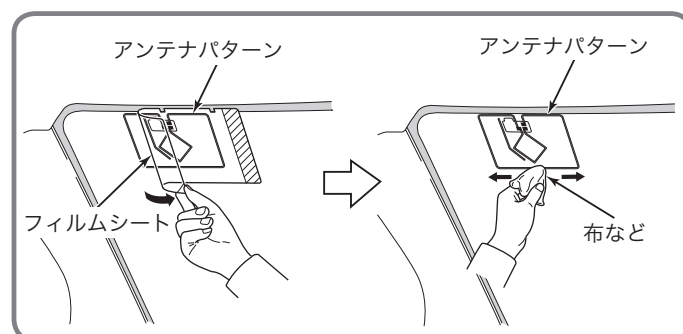
⚠注意

●アンテナパターン部をこする際は、ヘラなど固いものを使用しないでください。アンテナパターン部の破損の原因になります。

●フィルムアンテナは貼り直しできません。

アドバイス

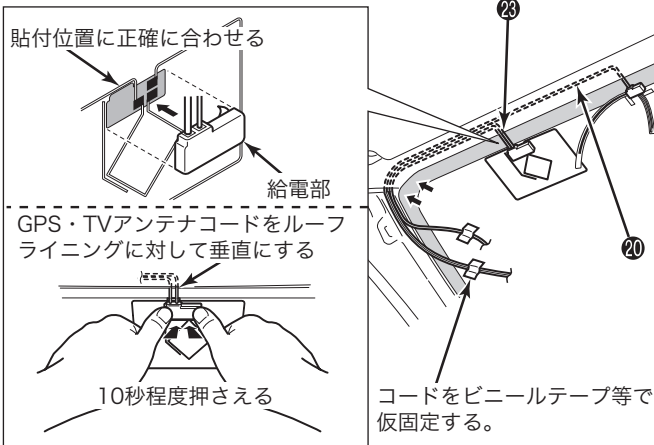
⓳フィルムアンテナの給電部貼付位置を黒セラまたは、黒セラドットの上に貼らないでください。黒セラまたは、黒セラドット部への貼り付け強度は、ガラス面より低下します。清掃時に、はがれないよう注意してください。

4 フィルムシートをはがす

① フィルムシートを角から180°折り返すようにゆっくりと矢印方向にはがす。
- ●アンテナパターンがフィルムシート側に残る場合は、手順**3**の③からやり直してください。

② アンテナパターンを布で押さえて、ガラス面にしっかりと定着させる。
- ●アンテナパターンにシワや傷がつかないように注意して作業を行ってください。
- ●マーキングしたテープを取り外してください。

フィルムシート側にアンテナパターンが残った場合

●フィルムシートを元に戻してアンテナパターン部をこすって、再度フィルムシートをはがしてください。
●初めはフロントガラス側にアンテナパターンがあっても、途中からフィルムシート側に残る可能性があります。その場合もフィルムシートを元に戻してアンテナパターン部をこすって、再度フィルムシートをはがしてください。

5 GPS・TVアンテナコードの給電部を ⑲フィルムアンテナの端子ベースに貼付ける

※給電部を10秒程度両手ですみずみまで均等に強く押し付ける

① 給電部をフィルムアンテナの貼付位置に合わせて正確に貼り付ける。
② 給電部を、約10秒間両手で均等に強く押し付ける。
③ GPS・TVアンテナコードをルーフライニング内に収める。
④ 給電部を手で押さえながらGPS・TVアンテナコードをルーフライニングに対して垂直になるように指で調整する。
⑤ フィルムアンテナコードがルーフライニングに対して垂直になっている事を確認する。

アドバイス

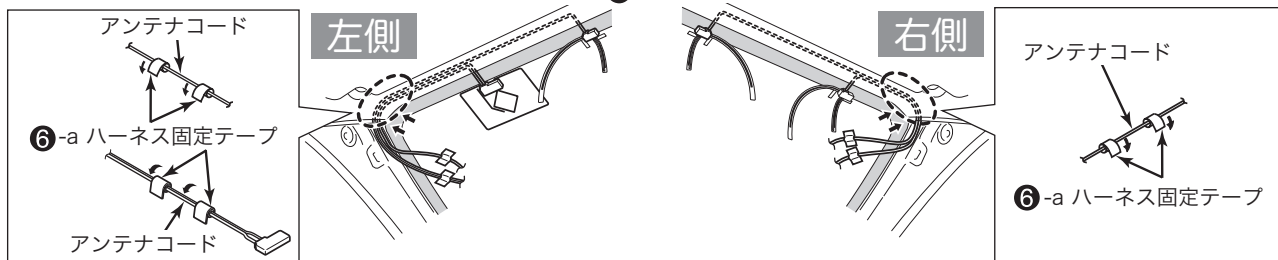
- ●粘着力が低下するため、給電部を貼り直さないでください。
- ●給電部を貼り付ける際、手が給電部の両面テープや、貼付位置にふれないように注意してください。

6 ⑳フィルムアンテナのコードをルーフライニング内に収める

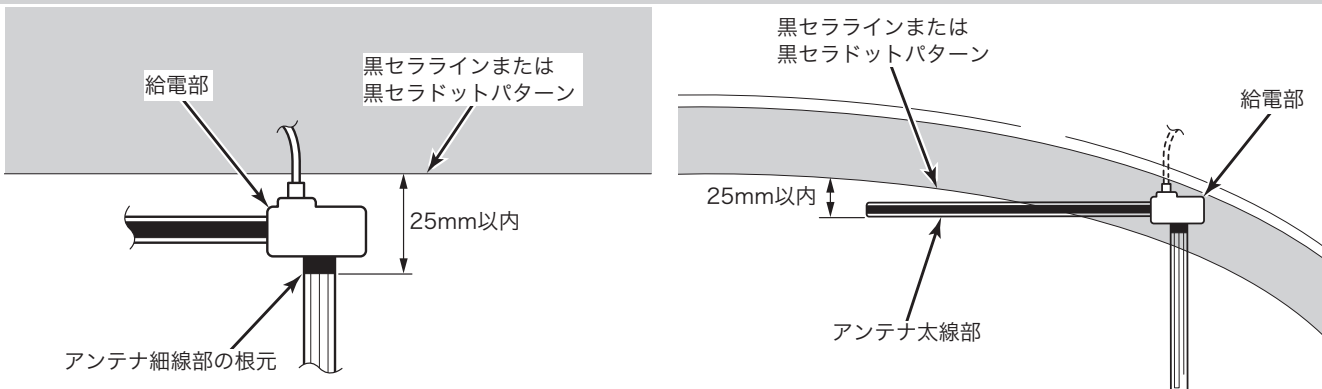
① ⑳フィルムアンテナのコードをルーフライニング内に収める。

●㉑、㉒ フィルムアンテナのコードも同様に作業を行ってください。

アドバイス

●アンテナコード：強く引っぱったり、ストレスやかみ込み等がないようにしてください。
ルーフライニングからはみ出す場合は、❻-a ハーネス固定テープを巻き付けてルーフライニング内に収めてください。

●ルーフライニング：無理な力を加えて折り曲がらないよう注意してください。

⚠注意

●国土交通省の定める保安基準に適合させるため、給電部、アンテナ細線部根元の黒い部分およびアンテナ太線部が黒セララインまたは黒セラドットパターンより25mm以内に収まるよう貼り付けてください。

アンテナ太線部は、黒セララインまたは黒セラドットパターン内への貼り付けを推奨します(☞手順**7**)。ただし、上図の例のように、やむを得ず黒セララインまた黒セラドットパターンからはみ出す場合でも、25mm以内に収まっていれば問題ありません。

7 ㉑フィルムアンテナ(右席外側)及び ⑳、㉒フィルムアンテナ(左・右席内側)をフロントガラスに貼付ける

① アンテナ貼付位置の汚れ、水分、油分などを付属のクリーナーでよく拭きとる。

② フィルムアンテナからセパレータ(ハクリ用タブ①)をはがす。

③ 貼付位置に合わせ、フロントガラス(室内側)の黒セララインまたは黒セラドットパターン内に給電部を貼り付ける。

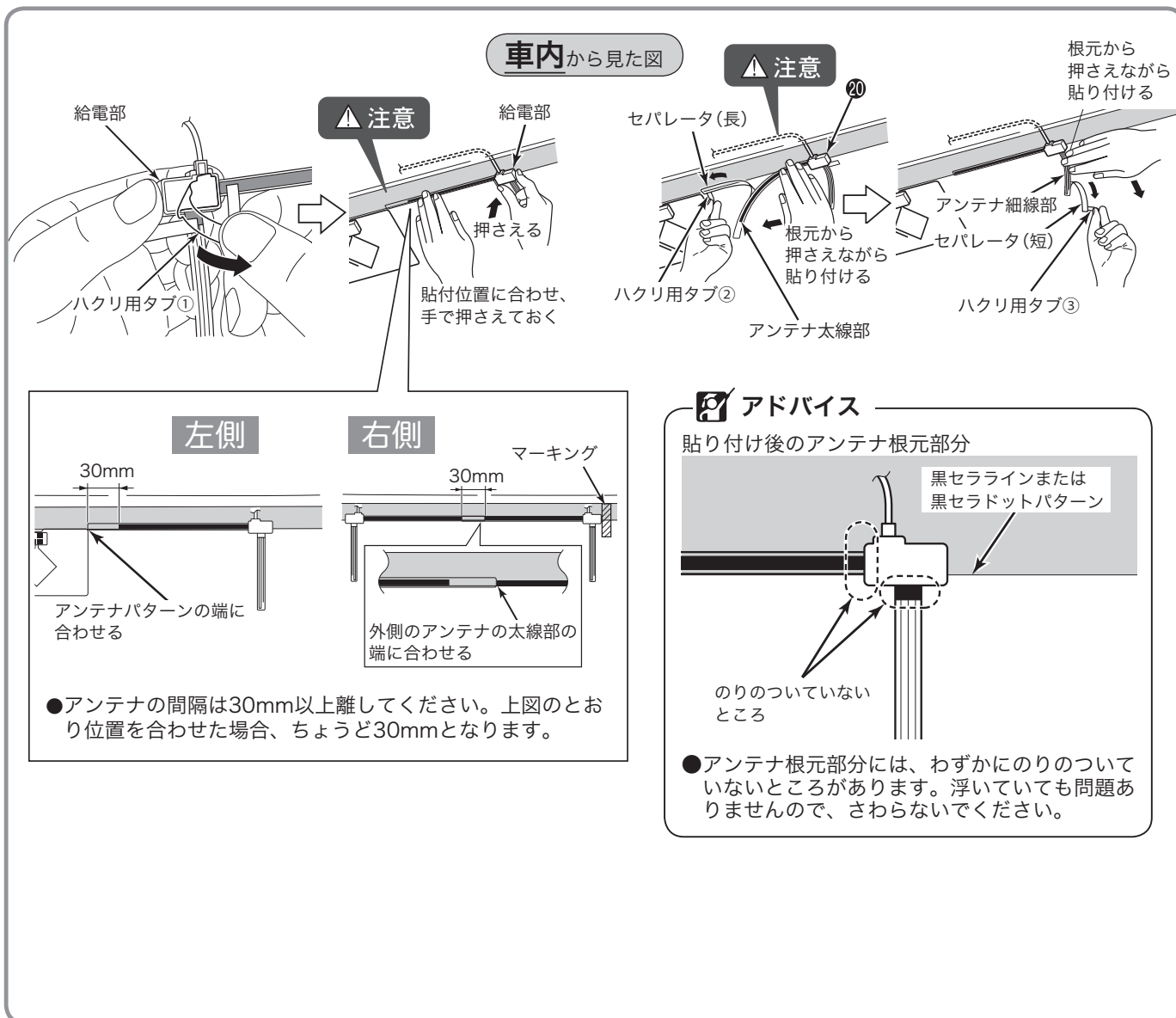
④ アンテナ太線部を黒セララインまたは黒セラドットパターン内に貼り付ける。

●セパレータ(長)(ハクリ用タブ②)を少しずつはがしながらフィルムアンテナを黒セララインまたは黒セラドットパターン内に貼り付けてください。

⑤ アンテナ細線部をフロントガラスに貼り付ける。

●セパレータ(短)(ハクリ用タブ③)を少しずつはがしながらフィルムアンテナをフロントガラスに貼り付けてください。

●アンテナの間隔は30mm以上離してください。上図のとおり位置を合わせた場合、ちょうど30mmとなります。

●アンテナ根元部分には、わずかにのりのついていないところがあります。浮いていても問題ありませんので、さわらないでください。

8 ㉓GPS・TVアンテナコード及び ⑳、㉑、㉒ フィルムアンテナコードを配線する

① ㉓GPS・TVアンテナコードおよび⑳、㉑、㉒フィルムアンテナのコードをバンドクランプおよび❻-aハーネス固定テープで固定しながらオーディオ取付位置まで配線する。

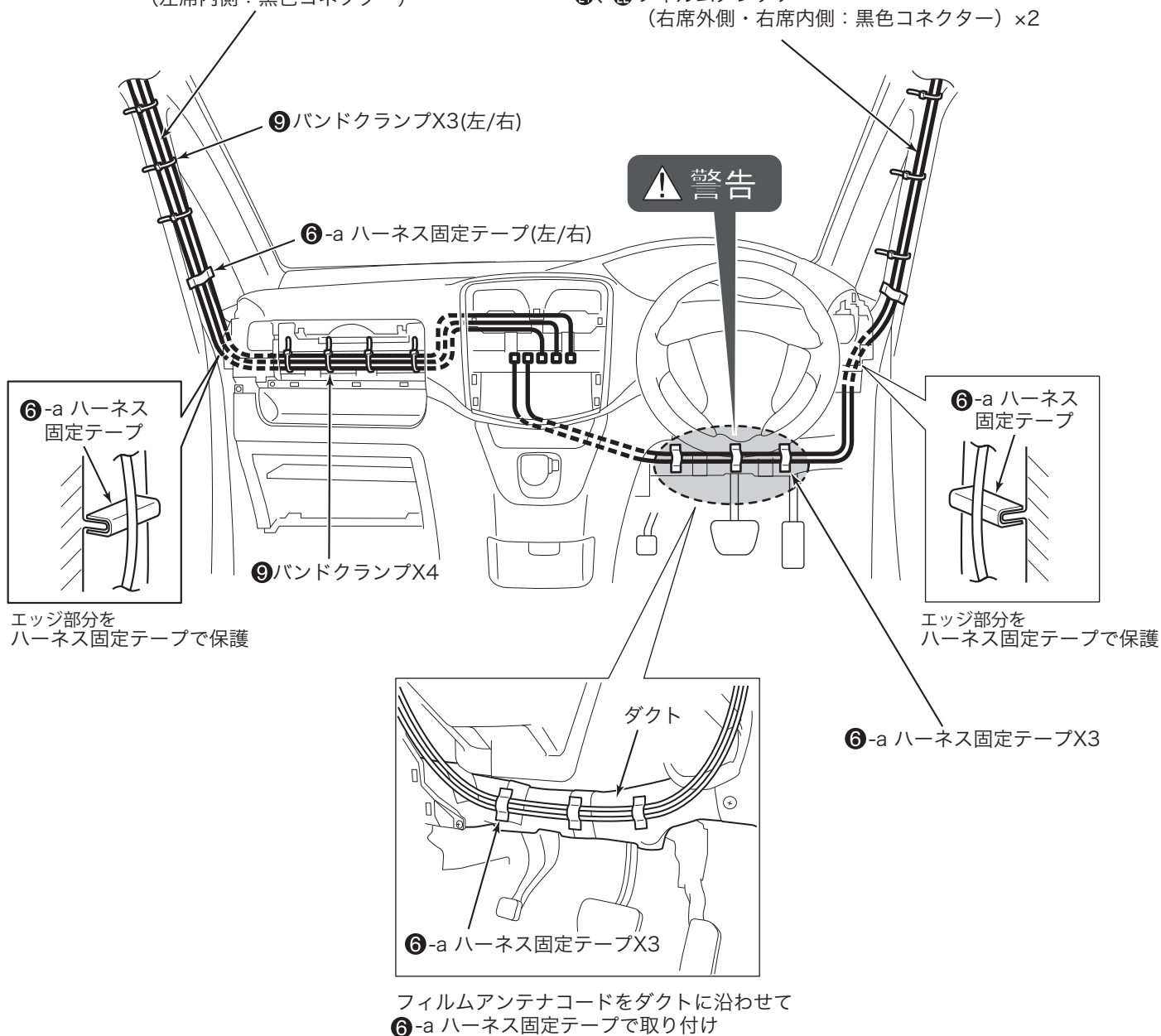
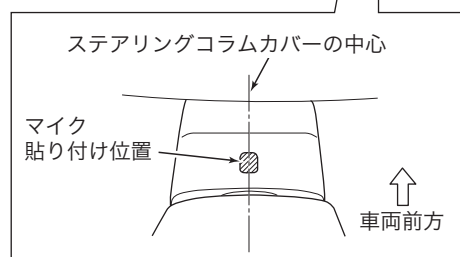
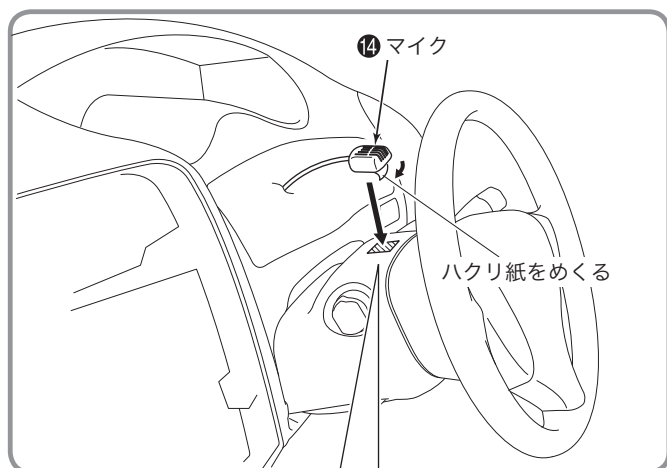
●車両エッジ部を避けて配線してください。干渉する場合は、エッジ部分に❻-aハーネス固定テープを貼り付けてください。
●車両内装トリムを復元した際、コードのかみ込みが無い事を確認してください。
●あまったコードをまとめるときは、メインユニットから30cm以上離してください。

⚠注意

カーテンシールドエアバック付き車の場合は、コードが干渉しないように配線してください。

⚠警告

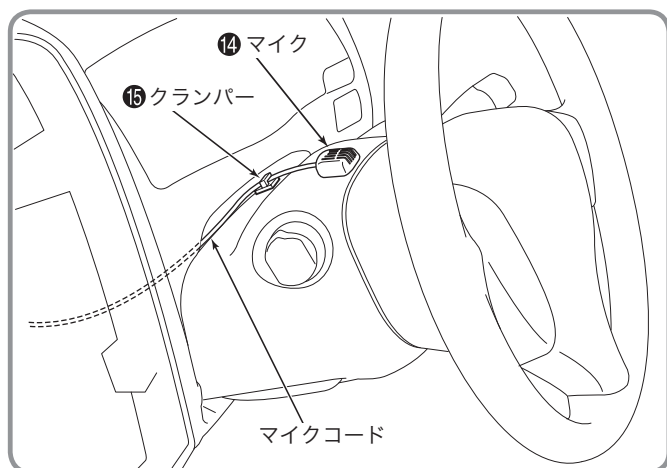
コード類は、運転操作の妨げとならないよう、ハーネス固定テープでまとめてください。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。

フィルムアンテナコードをダクトに沿わせて
❻-a ハーネス固定テープで取り付け

●マイクの取り付け

1 マイクを取付ける

1. ステアリングコラムカバーの中心にマイクの取り付け位置を決める。
2. マイクをステアリングコラムカバーの中心に取り付ける。

アドバイス

マイクを取り付ける際、取付位置の汚れ、水分、油分を十分ふき取ってください。

2 マイクコードを配線する

1. マイクコードをクランパーで固定しながら取付位置まで配線する。

⚠警告

マイクコードは、運転操作の妨げとならないよう、クランパーで固定してください。ステアリングやシフトレバーなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。

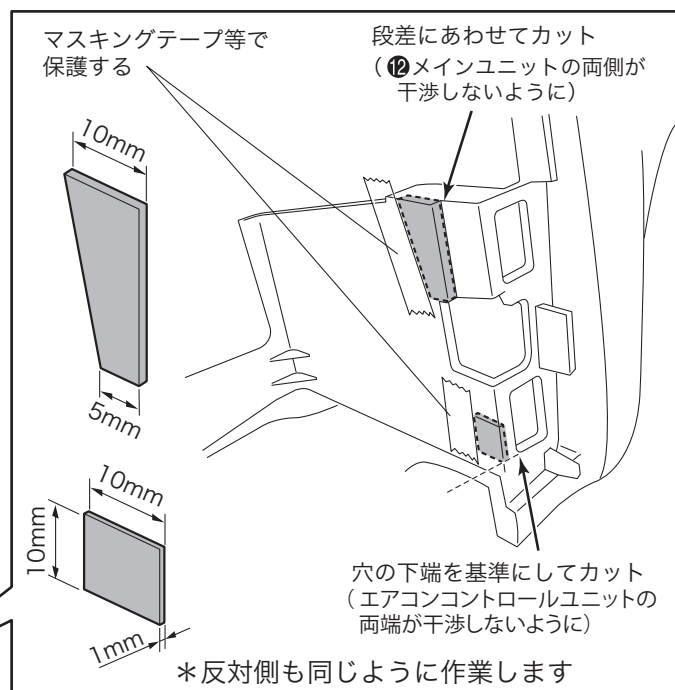
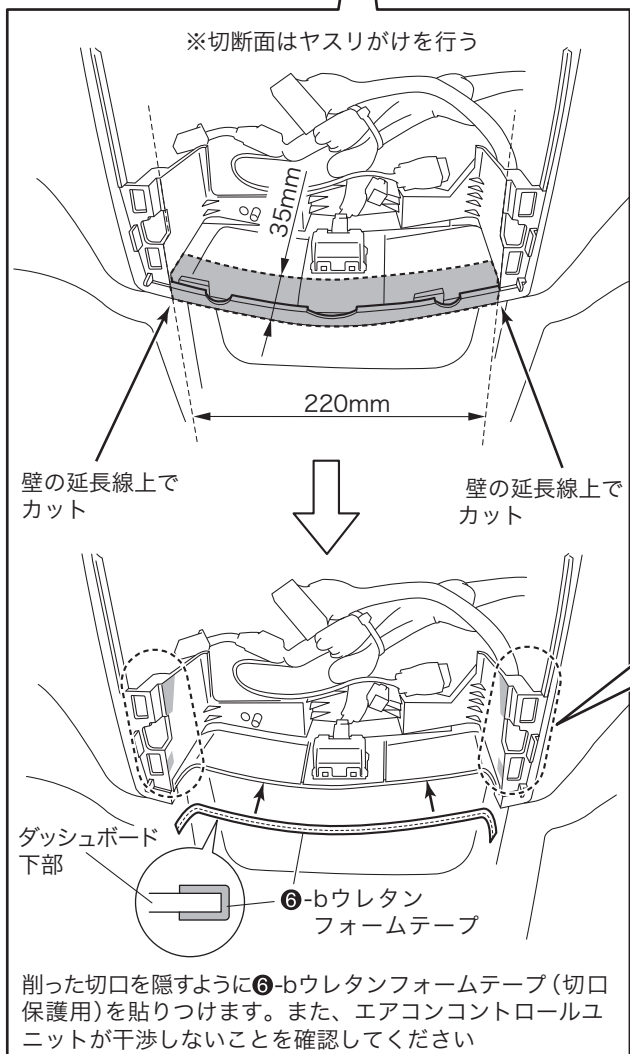
●メインユニットを取り付ける前に

削った切口を隠すように❻-bウレタンフォームテープ（切口保護用）を貼りつけます。また、エアコンコントロールユニットが干渉しないことを確認してください

1 ダッシュボードの加工

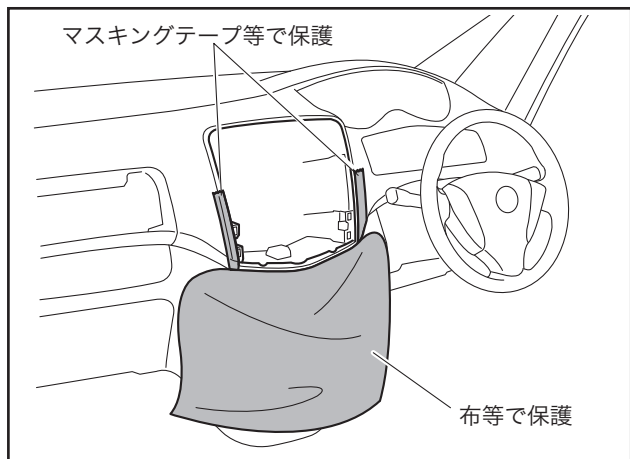
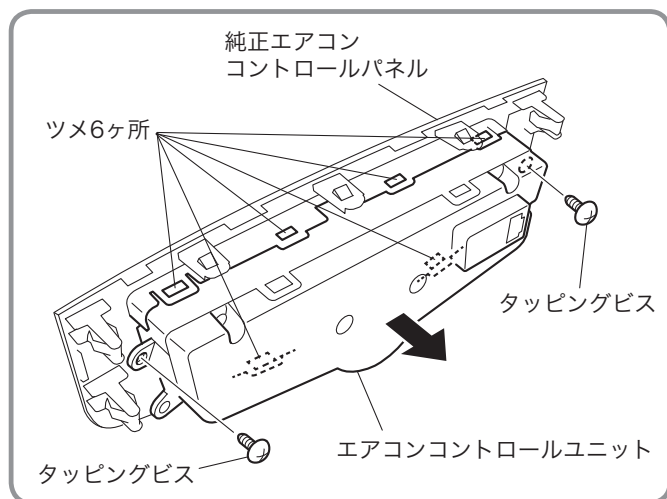
1．ダッシュボードの下部220mm（幅）X35mm（奥行）に、マジック等で線を書く。
・220mm（幅）の目安は、図中の斜め線面の延長線上です。
・35mm（奥行）は、ダッシュボード面から奥に35mmです。
書いたマジックの線にそって、糸ノコ等で切り取り、切口が見えないように❻-bウレタンフォームテープ（切口保護用）を貼りつけます。

2. 次に、下図のように左右の点線囲み部分を切り取ります。

＊反対側も同じように作業します

アドバイス

●車両部品にキズをつけないよう十分注意して作業を行ってください。
●加工を行う際は、マスキングテープ等を貼り付け、車両部品にキズを付けないように注意してください。
●加工を行う際、布等でコンソール部分を覆い隠し、加工部分の近くにはマスキングテープ等で壁を作って切り取った部分が車両内部に落ちないようにしてください。
●カットした部分（バリ等）が鋭く尖っている場合は、ニッパでカドを切り取ってください。
●切り取った後、切断面をヤスリがけしてください。

⚠注意

●加工した車両部品をもとの状態に復元するには、部品交換が必要になります。
●加工した部品については、自動車メーカーの保証対象外となるおそれがあります。また、車両部品の修理・交換については、弊社では補償できません。

2 エアコンコントロールパネルの加工

1. 純正エアコンコントロールパネルから、エアコンコントロールユニットを取り外す。

⚠注意

●取り外した純正エアコンコントロールパネルとタッピングビスは、使用しません。復元に使用する場合はお客様で大切に保管してください。

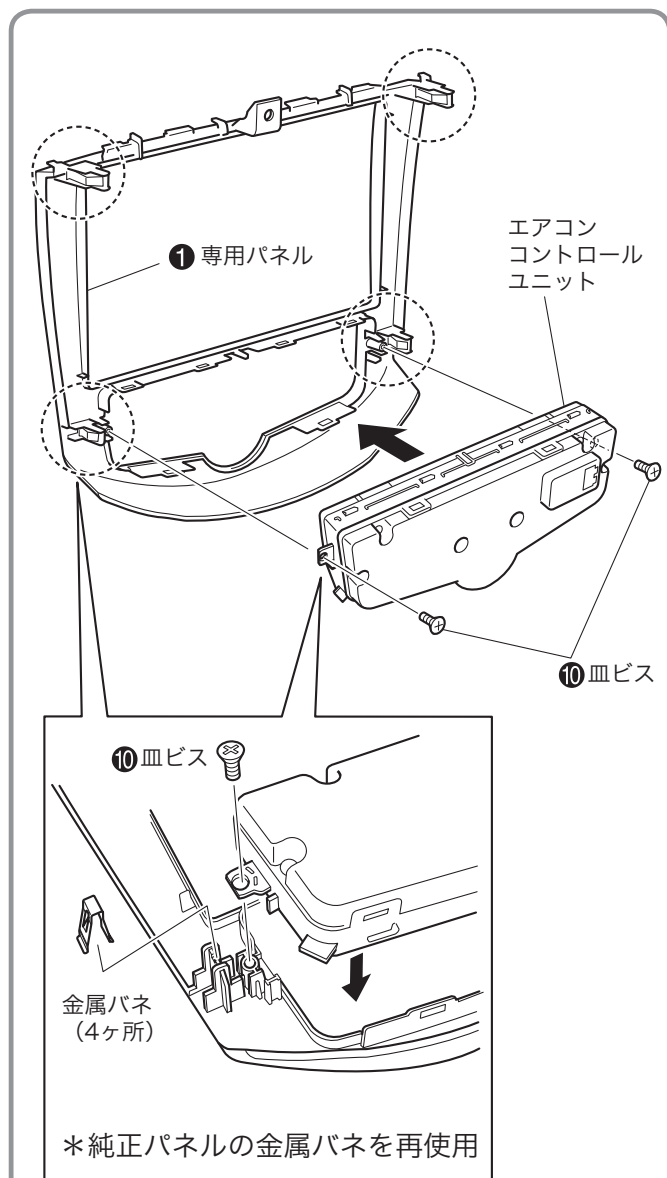
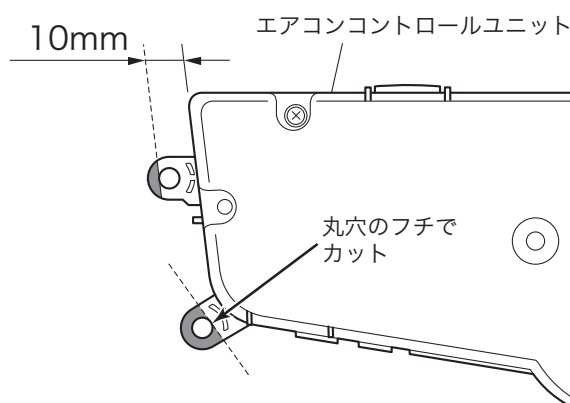
❶専用パネル

エアコン
コントロール
ユニット

❿皿ビス

❿皿ビス

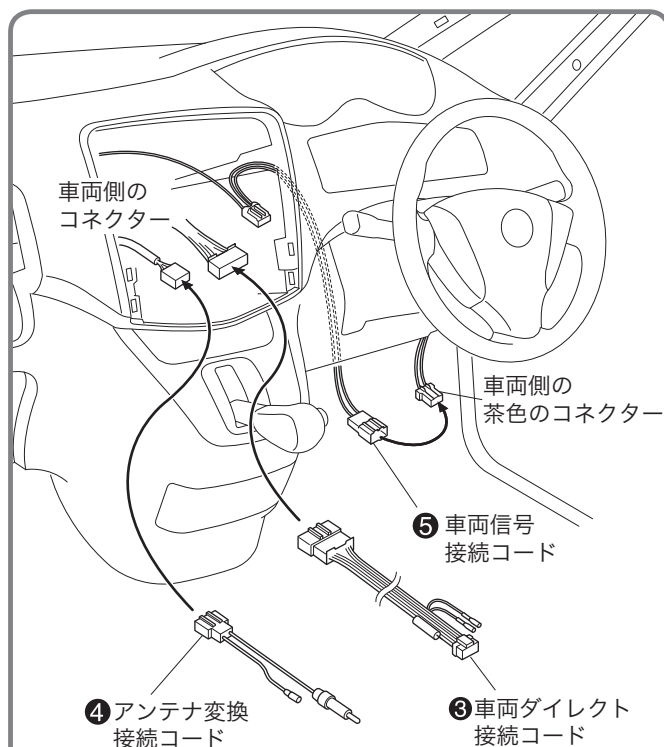
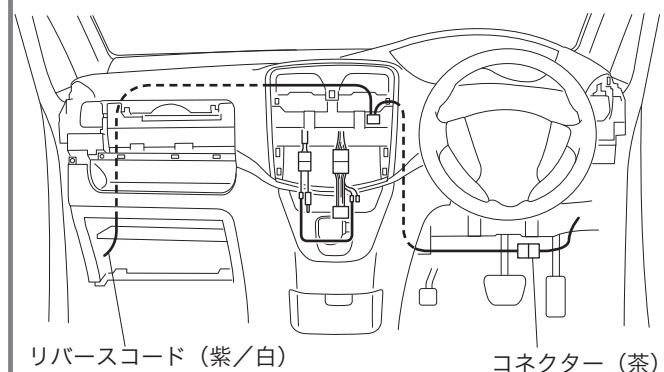
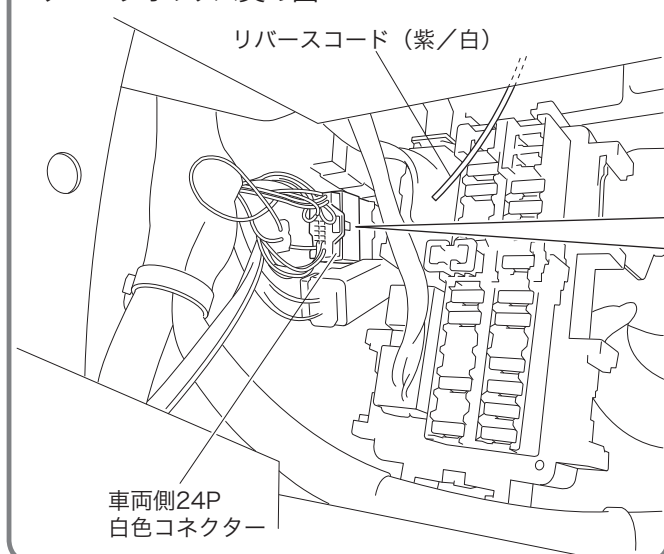
金属バネ
（4ヶ所）

＊純正パネルの金属バネを再使用

2. 下図のようにエアコンコントロールユニットの取り付け部を加工します。それぞれのアミ部分を切取ります。反対側も同様に切取ります。（❶専用パネルが干渉しないようにカットします。）

3. 純正パネルに付いていた金属バネ４個を ❶専用パネルに付け替える。タッピングビスは❿皿ビスと取り替える。
❶専用パネルにエアコンコントロールユニットを取り付ける。

⚠注意

●加工した車両部品をもとの状態に復元するには、部品交換が必要になります。

●加工した部品については、自動車メーカーの保証対象外となるおそれがあります。また、車両部品の修理・交換については、弊社では補償できません。

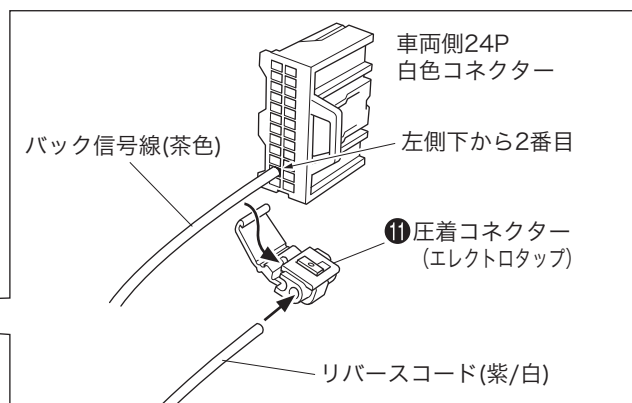
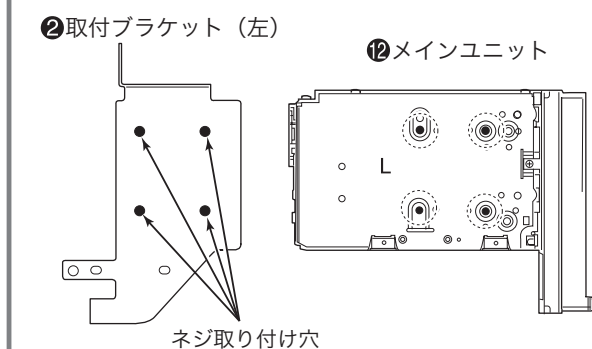
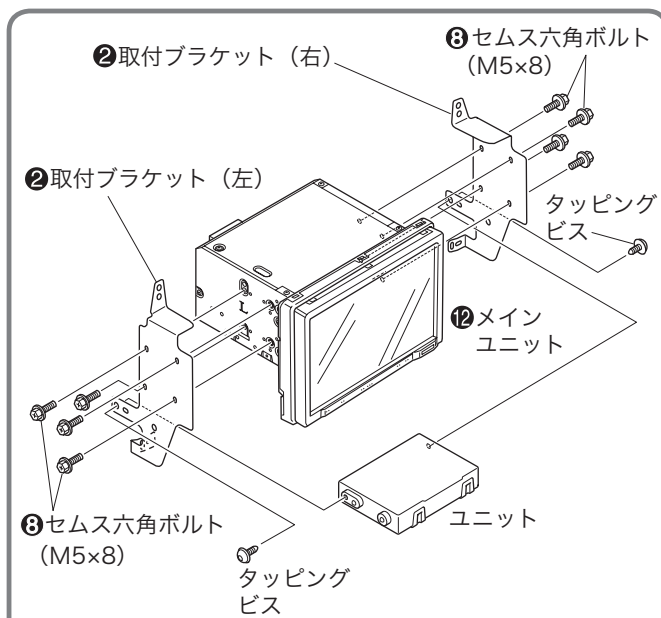
●メインユニットの取り付け

1 接続コードの取り付け

1．オーディオ開口部の10P、6P、20Pの各車両側コネクターに❸車両ダイレクト接続コード、❹アンテナ変換接続コード、❺車両信号接続コードを接続する。

2 リバースコードの取り付け

1．圧着式コネクターを使用して❺車両信号接続コードのリバースコード（紫/白）を車両側24Pコネクター（左側下から2番目のバック信号線　茶色）に接続する。

車両側24P
白色コネクター
バック信号線(茶色)
左側下から2番目
⓫圧着コネクター
(エレクトロタップ)
リバースコード(紫/白)

⚠注意

●コネクターの配線の色や形状は、年式、グレード等によって異なる場合があります。
必ずテスターで確認してから接続してください。

1 メインユニット本体の取り付け

1．❷取付ブラケット(左右)に⓬メインユニット、ユニットをはさんでに取り付ける。

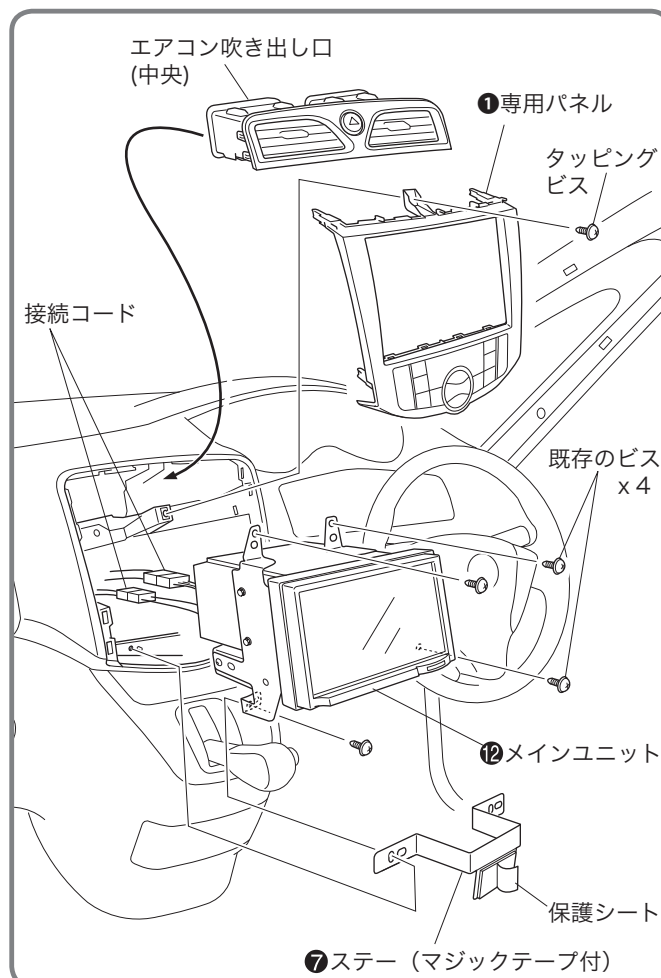
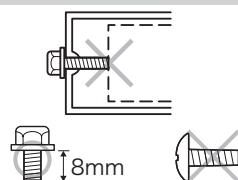
⚠注意

ブラケットの取付穴位置は、図の●印の位置を使用して取り付けてください。
(図は左側を示しています。右側も同様に作業を行ってください。)

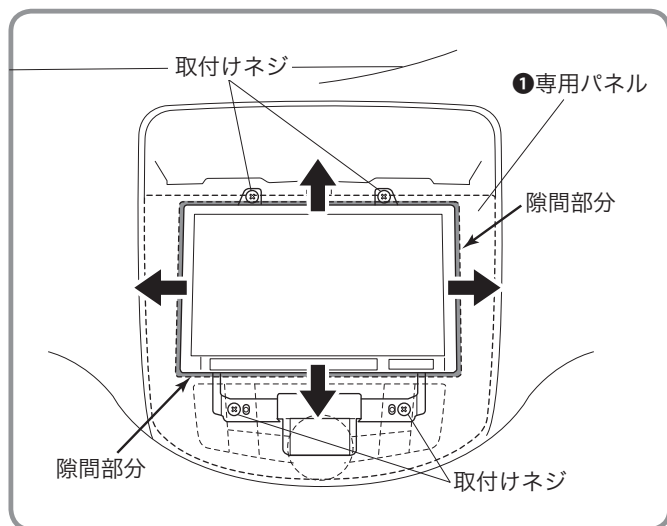
お願い

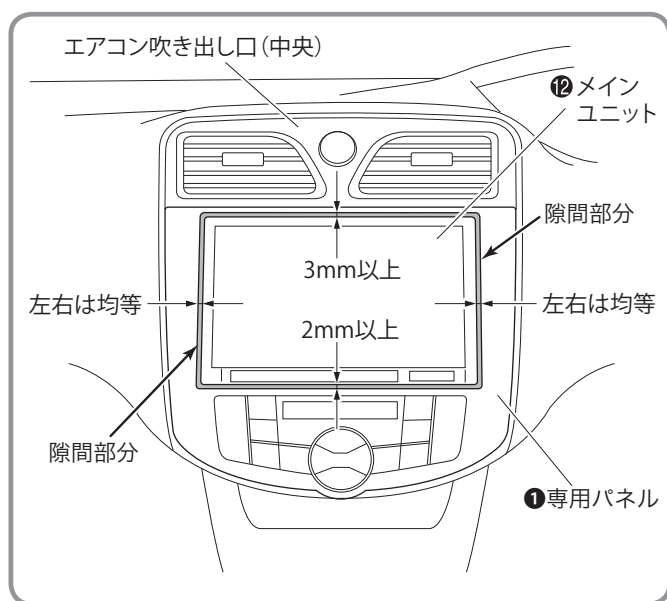
●必ず付属のねじを使用してください。

取付ねじは、必ず付属のねじ(赤色/M５×８)を使用してください。指定のねじ以外を使用すると機器の内部が損傷するおそれがあります。

エアコン吹き出し口
(中央)
❶専用パネル
タッピング
ビス
接続コード
既存のビス
x４
⓬メインユニット
保護シート
❼ステー（マジックテープ付）

2．⓬メインユニットに接続コード、ラジオアンテナ、GPS・デジタルTVアンテナコード、オプション5Pコネクターを接続する。
3．❼ステーを先に車両に取り付け（メインユニット取付けガイドの下部）
⓬メインユニットを既存のビスで共締めにする。
マジックテープの保護シートをはがしておく。
4．エアコンコントロールユニットを取り付けた❶専用パネルを取り付ける。
5．エアコン吹き出し口（中央）を取り付ける。

アドバイス

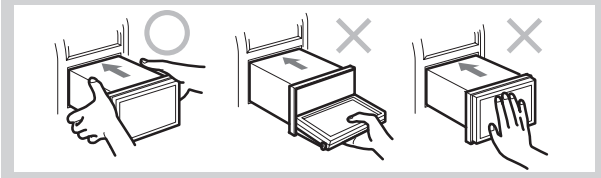
●各接続コードを車両側の空いたスペースに逃がしながらメインユニットを取り付けてください。

アドバイス

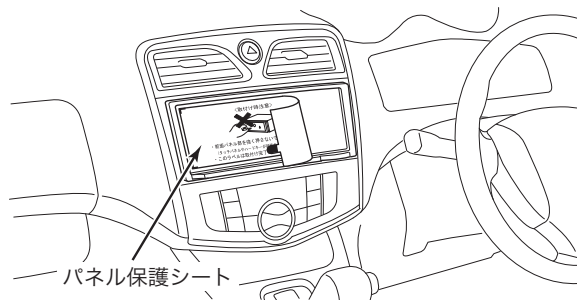
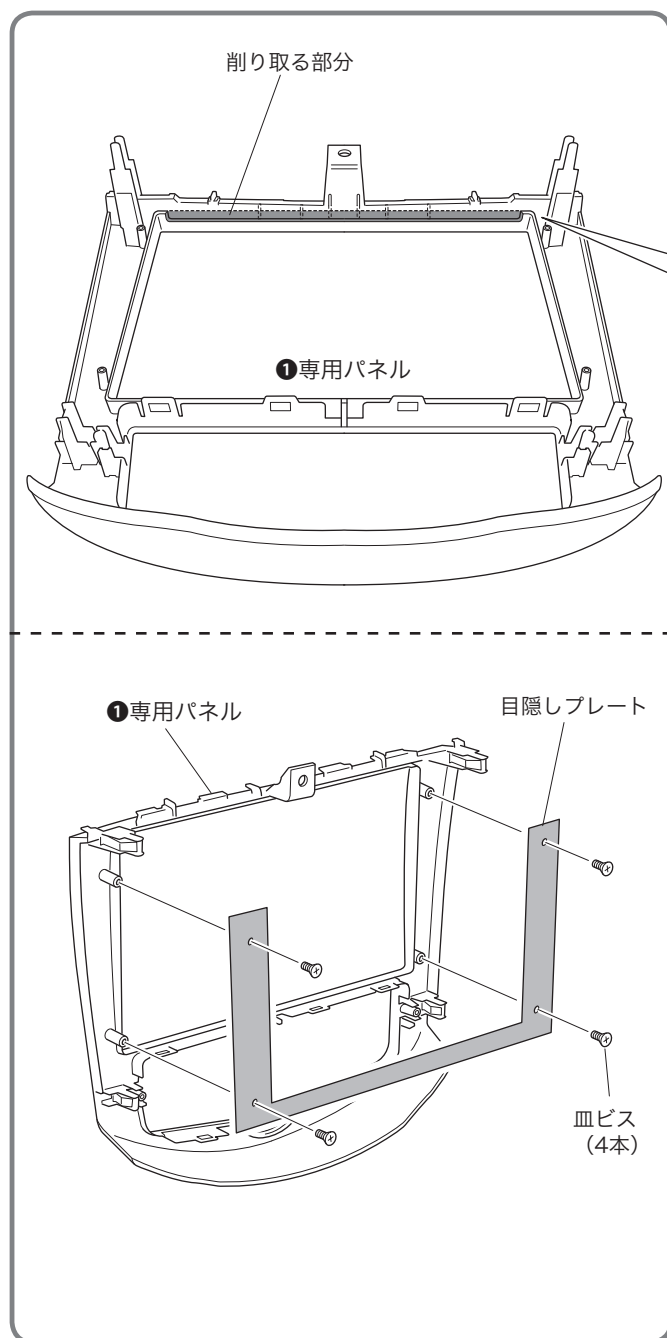
- メインユニット取付後、専用パネルとメインユニットの隙間が均等であることを確認してください。隙間が均等でない場合はメインユニットと車両を取り付けるネジを緩めて、上下左右の隙間が均等になるよう調整して取り付けてください。
- ディスプレイをチルトさせ、専用パネルとディスプレイが接触しないことを確認してください。

2 最終取付け確認

1．❶専用パネル、エアコン吹き出し口（中央）を取付けた時、⓬メインユニットとの隙間が左図のようになっていることを確認します。

お願い

●ディスプレイを手で押さえないでください。

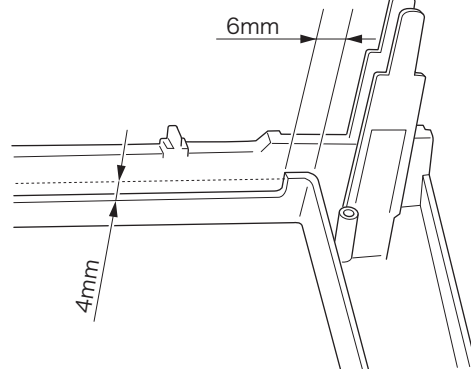
車両に取り付ける際、メインユニットのディスプレイ(表示部)やボタンを強く押さないでください。ディスプレイ(表示部)やボタンが破損する恐れがあります。

●パネル保護シートはメインユニットを車両に取り付け、動作確認後に取り外してください。

ディスプレイに傷を付ける恐れがあります。

● 7インチに戻す場合（別売の目隠しプレート、皿ビス4本付の購入が必要です）

1 専用パネルの加工

1．専用パネルの上部内側、⓬メインユニットと干渉する部分を削りとる。

❶専用パネル

目隠しプレート

皿ビス
（4本）

2. 目隠しプレート（別売）を、皿ビス4本で取付ける。

アドバイス

●カットした部分のバリ及び目隠しプレートが接する❶専用パネルの部分が鋭く尖っている場合は、ニッパでカドを切り取ってください。

●切り取った後、切断面をヤスリがけしてください。

●取り付け後の設定／作業確認

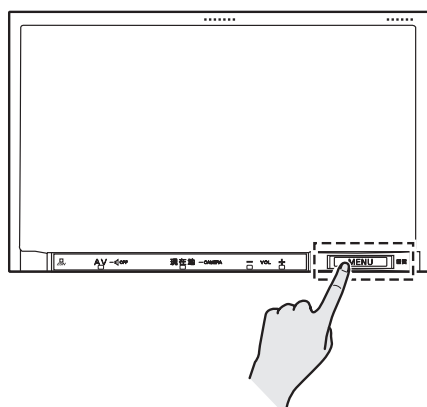
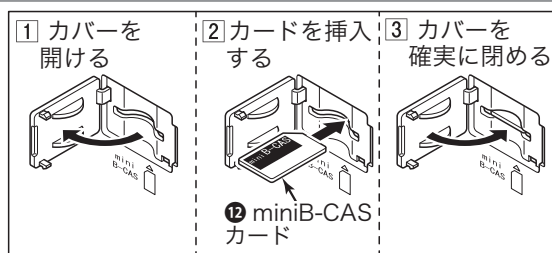
1 車両のエンジンを始動し、ナビゲーションを起動する

アドバイス

●ナビゲーションが起動するまで、ACC OFFやメインユニットの操作はしないでください。
●シフトポジションや周囲の安全を確かめてから車両のエンジンをかけてください。

2 カードスロットにmini-CASカードを差し込む

アドバイス

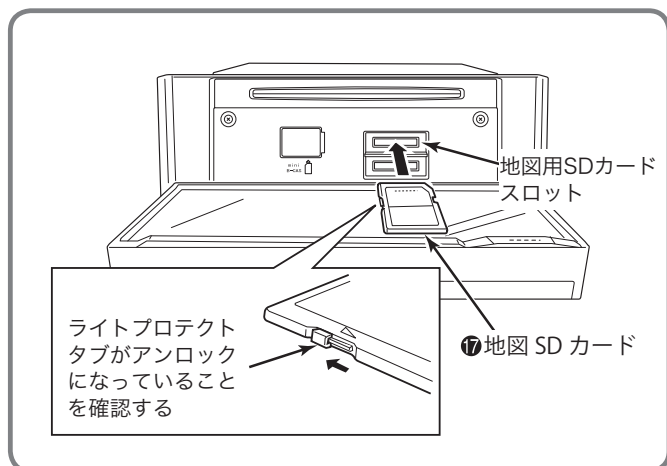
●miniB-CASカードの取り扱いは、"取扱説明書"をよくお読みのうえ、お客様に確認ののち作業を行ってください。
●カードの説明書に記載の文面をよくお読みのうえ必ず挿入してください。
●miniB-CASカードを挿入しないとデジタル放送が視聴できません。（ワンセグ放送は視聴することができます。）
●「使用許諾契約約款」を、よくお読みください。
●バス・タクシーなど、不特定または多数の人の視聴を目的とした業務用途には使用できません。
●ダッシュボードの上など、高温になるところにカードを放置しないでください。
●カードの不具合と確認された場合は、お客様より（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズカスタマーセンターにお問い合わせください。修理センターなどでカード交換を行なった際、発生した作業工賃などの費用は、お客様のご負担となります。

1．本体画面外 MENU ボタンを押す。
2．⏏ OPEN にタッチする。
3．⏏ SD にタッチする。

4．カードスロットにminiB-CASカードの文字を上にして挿入する。

お願い

●miniB-CASカードには、IC（集積回路）が組み込まれているため、画面にメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。（☞詳しくは、取扱説明書をご参照ください）
●miniB-CASカードを抜き差ししたときは、3秒以上経ってから、miniB-CASカードの動作確認を行ってください。（☞詳しくは、取扱説明書をご参照ください）
●miniB-CASカードを抜く際は、カードを奥に押し込んでから引き抜いてください。

⚠注意

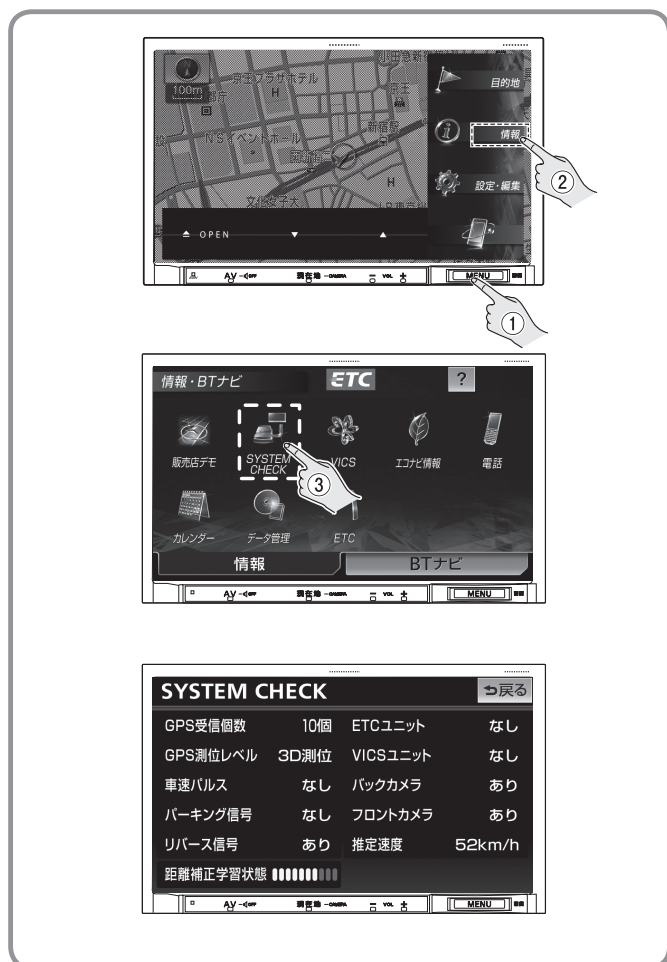
●miniB-CASカードの端子面には手を触れないでください。読み取り不良の原因となります。
●miniB-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
●ご使用中は抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。
●miniB-CASカードをロック音がするまで、奥にしっかり差し込んでください。しっかり挿入されないと受信不良等の原因となります。
●カードスロットのカバーは確実に閉めてください。カバーが浮いていると、ディスプレイ開閉時にディスプレイがカバーに引っかかり故障の原因となります。

3 地図SDカードを挿入する

5. 地図SDカードを「地図」と記載あるスロットに挿入する。

⚠注意

地図SDカードのライトプロテクトタブが「アンロック」になっていることを確認してください。「ロック」になっていると地図データが読み込めません。工場出荷時は「アンロック」になっています。

- ●地図 SD カードの向きに気をつけて、「カチッ」と音がするまで奥に入れてください。SD カードがきちんと挿入されていないとディスプレイが CLOSE しません。
- ●地図 SD カードを取り出す際、「カチッ」と音がするまで地図 SD カードを押し、まっすぐ引き出してください。

4 見通しの良い場所で各信号の接続状態を確認する

① 本体前面の MENU ボタンを押す。

② 情 報 をタッチする。

③ SYSTEM CHECK をタッチし、それぞれの接続状態を確認する。

お願い

●GPS受信感度

しばらく経ってもGPS受信感度の表示が変わらないときは、GPSアンテナの接続状態を確認してください。

●車速パルス

SYSTEM CHECK画面で走行すると車速パルス信号の状態を確認することができます。
走行中、表示が「あり」に変わらないときは、車速パルス信号の接続状態を確認してください。

●パーキング信号

パーキングブレーキがかかっている場合、表示が“あり”に、パーキングブレーキがかかっていない場合、表示が“なし”に変わります。
表示が変わらないときは、パーキングブレーキ信号の接続状態を確認してください。

●リバース信号

バックギヤ以外にシフトしている場合、表示が“なし”に、バックギヤにシフトしている場合、表示が“あり”に変わります。
表示が変わらないときは、リバース信号の接続状態を確認してください。